

## 第4回大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会

日時 令和2年8月26日(水) 午後1時30分～午後3時30分  
場所 リアスホール1階マルチスペース  
出席者 委員：13名  
大船渡市：協働まちづくり部長、生涯学習課長、生涯学習課長補佐、  
スポーツ推進係

〔会議内容〕

### ◇ 報告事項

第3回大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会について  
→ 意見等特になし。

### ◇ 協議事項

大船渡市スポーツ施設整備基本計画（素案）について  
〈意見・質疑応答〉

- ・ （谷山誠志委員）市営球場が昭和39年に完成したとのことだが、当時は車を持つ家も少なく風呂も銭湯に通っていた時代である。それ以前の計画による整備であるのだから、時代背景からも駐車場が足りないのがわかるが、その後も駐車場が増えなかった理由は何か。  
→ （生涯学習課長）駐車場を整備する用地が見つからなかったということだと思う。市全般に言えることだが、平場については住宅地になっており、その他は急傾斜地が多い。山を削らないと平場が作れないということが大きな原因かと思う。
- ・ （古座勝利委員）野球場の整備は個人的には必要だと思っているが、今現在、沿岸地区で県大会等の公式戦を開催しようと思った時に、陸前高田市や住田町、釜石市平田の野球場で対応できるものなのか。大船渡に新たに整備しなくても、公式戦の呼び込みはできるものか  
→ （新沼良治委員）県大会レベルで、今出された3つの球場の中で1番使いたくないのは平田球場だ。駐車場が足りない。路上駐車することになるため、関係者が最も気を遣う球場だ。県大会の対象となると春・秋の大会になると思うが、昔よりも予選通過チーム数が増えているため、最低3つの球場は必要になると思う。  
→ （谷山誠志委員）少年野球程度あれば大会を開けると思う。実は今年8月に平田球場を主会場に、高田松原球場、大船渡市の市営球場、山田町の球場を使って全国大会を開催することになっていた。宿泊なども考えて私は無謀だと思っていたが、残念ながら中止となった。  
昔、名球会が大船渡に来た際に、「何万人収容する球場なのか」と聞かれ、0.2万人だと答えたらすごく怒られた。また、当時からシャワーを使うのが当たり前になってきていた。施設面から考えると大会を開くのは難しいかと思う。
- ・ （浅沼道成委員）市営球場に関して言うと、軟式野球をする人は増えていてそれなりに使われているのが現状である。硬式を主眼にすると、新しい球場では春・

秋の県大会等高校野球のほかは、一般の方や社会人のチームとかどのくらいの利用を見込んでいるのか。

→（協働まちづくり部長）具体的な数字というのはないが、硬式と軟式どちらでも使いたいという意図がある。市内の高校には練習試合等で結構な頻度で使われると見込んでいる。せっきゃく整備するのであれば、硬式軟式どちらにも活用できる球場をと考えている。

- ・（浅沼道成委員）おっしゃることはよく分かるし理想的だと思うが、現実のところ、今話を聞くと、市内の高校のチームのために整備するというのが強く聞こえるが、市民の方々が「ここは野球が盛んな地区だから、ぜひ実現させてほしい」というなら私も賛成するが、市民の方々が納得するのかな、というところがちょっと気になった。いろんな意味で高校野球の環境が良くないから整備する、というのが主なのかなと思った。それなら隣の陸前高田市の施設を使わせてもらうということも考えた。

短絡的に、県内市町村の野球場を調べてみたら、驚くことに全ての市町村にあることがわかった。みんな、野球場を持つことにステータスを持っていた時代の名残だと思う。使われなくて困っているところが結構あるが、どこも目指すところは高校野球の県大会である。大船渡市も市としてそこを目指してがんばっていくというのであればいいのかなと思う。今のままでは弱いのかなと感じていて、ましてや今後10年は今の球場に手を付けないとなると、10年後の社会が、さらなる少子化などどうなっているのかわからない。案として、整備更新を持っていくことはいいと思うが、1番に出てくる必要はないのかなと思う。むしろ市民体育館の方に市民の方々は意識が向いているので、そちらを考えながら野球場も考えていくというのが、難しい選択ではあるがいいのではないかな。正直なところ、この素案を見た時に、野球場は整備することで決定していると思った。実質、場所も決まっている。赤崎グラウンドも見させてもらったが、中途半端に感じた。駐車場も増やさなければいけないし、もしかしたらサブグラウンドがあった方がもっと人が呼べるのでは。あそこに野球場を整備したら、同時に大会を開催することはできないし、駐車場の200台も気になった。土地が足りないというのは現実問題なのだから、なんとか工夫があれば良い。今ある施設をそのまま移してくるような発想だと、いい施設整備のアイデアが見つからないと思う。

- ・（三宅肇委員）今言われたように、高校野球のための球場というわけではないが、最低でも高校野球をやれる程度の規模の球場がほしいということ。‘高校野球のため’ではない。軟式の専用球場というのはいり得ないと思うので、硬式も軟式もできる球場ということで新球場が必要だと思うし、陸前高田市、住田町と大船渡市の3つの球場があれば、球場の中身にもよるが、県大会程度の大会は開催できるのではないかなと思う。県内どこを見ても大船渡市の球場が1番質の悪い球場だと感じる。

また、総合運動公園の整備みたいな話は無理だと思うので、今ある施設をどう整備していくのかが、この委員会での話であり、あまり夢のある話ではできないが、野球場一つとっても、計画だけで10年近く検討していくことになっている。まだまだ時間があるので、特に老朽化している施設であることも考えると、もっと短いスパンで整備を実現させることを考えていかないと。予算の関係もあると思うが、ぜひお願いしたいと思う。

もう一つ、赤崎町のスポーツ交流ゾーンが今度整備される予定で、もう工事の発

注もされたと思うが、今回は敷き均し工事だけで、ウワモノは決まっていないがこういう工事を進めるということか。

→（生涯学習課長）地元（中赤崎地区）とすれば野球場を中心としたスポーツ交流ゾーンを整備するんだ、という意向があるが、今回については、何でも使えるような広場を作ることとして、クレイ舗装の工事と駐車場用の砂利敷き、フェンス設置等を行う予定としている。そのウワモノについては、これから決めていくことになる。

- ・（三宅肇委員）ここ（資料）にあるとおり、野球場の可能性もあるということか。  
→（生涯学習課長）市内で4 haを確保できる用地は3つで、その中で有力地が中赤崎地区なので、整備する可能性は十分にある。
- ・（新沼良治委員）事務局の後押しというわけではないが、現状として、今、大船渡高校のグラウンドでは練習試合ができないそうだ。昔は周辺に家が建っていなかったが、今は家が建っていてファールボールがガラスを割ったりしてクレームが出るため、外に出て行って試合をしている。大船渡東高校は国道45号に隣接していて、ファールボールが道路まで飛んで行く。事故があったかどうかまではわからないが、そういう現状にある。私は市民でありながら、これまでほとんどを市外で過ごしてきた人間だが、外から見ると大船渡市はうんと野球が盛んな地域だと思う。大人の方々も盛んだし、少年野球も中学校も野球熱は高い。子どもたちの野球は、猪川、盛、立根で合同チームになるような話も耳に入っている。10年先どうなっているかわからないが、それを視野に入れてもいいのかなと思っている。資料そのものは良くまとめていただいたと感じている。もう一つ、付け加えるのであれば、ちょっと難しいようだが、市民体育館をなんとかできないのかなと感じている。いろんな施設を昔作った時に、その時の事情があったと思う。前回は、全て中途半端だとお話したが、いろいろ検討していただいて、市民の方々が「良くなったな」と思ってもらえるといいのかなと思う。
- ・（上関みさ委員）住田町の野球場は収容人数1,200人に対して駐車場300台、整備しようとしている球場は収容人数2,000人に対して駐車場200台で、もう少しスペースが広い方がいいのではないか。  
→（生涯学習課長）4 haのうち、約0.9 haが普通車200台、バス10台分の駐車場用地となるが、駐車台数を増やすとなるともっと面積が必要になってくる。そういった土地が市内にはなかなかないので、このくらいの台数としている。
- ・（上関みさ委員）赤崎グラウンドの方も駐車場が足りなくて増設したという話だったので、最初から想定をして多目に作っておくのがいいのではないか。  
→（生涯学習課長）中赤崎地区はこの4 haのほかに、現在の県道の海側の土地も駐車場整備したいという構想はあるが、民有地が多いので多額の取得費や整備費が想定されている。そういう構想はあるのだが、実際に中赤崎地区に野球場を整備するとなった場合には、そういう別な土地を駐車場として確保していくことも考えなければいけないと思っている。
- ・（浅沼道成委員）確認だが、この資料の中身の検討はこの場で行うということで良いか。野球場を整備するのであれば早く整備した方が良い。そこは三宅委員の意

見に賛成だ。候補地3（萱中地区）の学校用地はどうか。ちょっと山間だがここであれば駐車場の問題もOKだ、等もっと具体的な意見交換を私たちでやるべきなのか、どこまで審議したらいいのかよくわからない。私は、単純に外の（市外の）人間からすると、駐車場も考えれば候補地3の土地がいいのかなと思う。

→（新沼良治委員）この候補地3は写真の上部に校舎が建っていて、壊す必要がある。

→（浅沼道成委員）県の所有地だろうから、いくらか融通が利くのではないかな。交渉次第だと思う。なぜ萱中地区かということも、跡地利用ということもあるし、赤崎地区は中途半端。地域の方々が納得するのであればサブグラウンドを作って、地域の方々も使えるようにいい形でスポーツエリアした方が良いのでは。野球場を整備してしまうと、反対される気もする。

→（生涯学習課長）萱中地区だが、元農業高校跡地で校舎もまだ残っていて県有地になっている。メリット・デメリットを整理しているが、用地の取得費におよそ3億7千万円を見込んでいるとともに、用地内の2mほどの段差の解消も必要になる。校舎の解体費もかなり必要になるだろう。費用面を考えると、面積的には広いがあまりメリットがない土地かなと思っている。

→（浅沼道成委員）校舎を合宿所にするとかいろいろな考え方があると思う。発想を変えた方が良い。これを壊すのではなく、どう活かすか。県の土地なので市がどこまで手を加えることができるのかわからないが、発想を変えないとこの問題は解決しそうでない。土地がないから駐車場が足りないで終わりそう。突飛な考えがあってもいいのではと思う。

→（協働まちづくり部長）この計画は基本計画なので、整備の詳しい内容までは踏み込む必要はないものと思っている。方針をきちんと明らかにしていくことがこの基本計画の役割。ただその中で、新たな投資になりそうなものについては、当然、議論の的になるので、ある程度の検討を深めるということで、整備基本計画ながらも3施設（市営球場、市民体育館、市民テニスコート）については踏み込んだ内容を記載し、このようなまとめとしたところである。

なお、旧農業高校の校舎については耐震化されていないため、再利用する際には耐震化工事が必要になる。また、校舎を利用しない場合は、解体費用が必要になる。

- ・（古座勝利委員）市民体育館について、現状と課題の中で「耐用年数が18年残っている」ということだが、個別施設計画の後期には屋根修繕やエレベーター設置などを予定しているし、今後18年間維持していくことを考えると外壁の補修など維持補修の費用が莫大に見込まれる。こういったことを考慮して先行して整備することも必要ではないか。

→（生涯学習課長）市民体育館については、東日本大震災で被災し、9億円近いお金をかけて復旧している。耐用年数60年を待たずに整備するとなると、災害復旧の9億円が無駄になってしまう。なので可能な限り耐用年数まで使用する、もしくは長寿命化して70年でも80年でも使いたいという考えである。

- ・（鈴木弘委員）感想から言わせてもらおうと、「がっかりした」というところが正直なところだ。令和10年度までの期間で最も市民が望んでいるであろう、市民体育館や市営球場の更新がされない、それに対してがっかりしたという意味である。理

由は耐用年数や市の財政問題のようだが、資料の表記を見ると、市営球場については「取り組まなければならない喫緊の課題」とあるのに、検討に8年以上を要する計画になっている。理由はあと10年使えるからという。市民体育館については、昨年のスポーツ施設整備検討委員会の中でも「耐用年数を待たずにできるだけ早い時期に整備してほしい」という意見があったと記憶している。計画案の中でも「早期の更新を求める声が多く寄せられています。」とありつつも、あと18年耐用年数が残っているとの記載もある。昨年の検討委員会から携わっている身からすると、せめて市営球場か市民体育館のどちらかは、芽が見えてくるのかと期待していたが、そういう意味でがっかりしてしまった。

少し質問させてもらうが、市民体育館のエレベーターの件をはじめ、予算化されているものはかっこ書きで金額が入っているとの説明だったが、このうちエレベーターの設置にはどのくらいの費用を見込んでいるのか。それから、三陸B&G海洋センターのプールについて、適用手法は「存廃について検討」とあるが、適用手法の考え方からいくと「廃止」になるのではないかと思うが、いかがか。

また、市営球場の場所選定に関わって、中赤崎地区のスポーツ交流ゾーンが、何を建てるのか決まらないうちに整備が始まっている。それは予算の問題があるからということだった。中赤崎地区の条件を良くした状態で「ここが1番良いですよ」と言わると、私たちにその同意を求められているような気がしてならない。前にも話したが、普通であれば、整備する野球場はこういう施設で土地の規模がこれくらい必要だから、それに見合った土地を探す、というのが普通の流れだと思うが、整備が先行していてもお金もかかりませんよと言われ、いかにもここで容認するような、この会議の場で推されたから（中赤崎地区に）決めただ、というふうには絶対にしていただきたくない。

→（生涯学習課長）市民体育館のエレベーター設置については約3千万円を予定している。個別施設計画の実施内容について、建物のある施設については、市公共施設施設等個別施設計画が既にできていて、そちらでまとめることになっている。そこに登載されているものは金額を入れて個別施設計画に記載した。金額が入っていないものについては、この検討委員会の内容をまとめてこれから計画にしていくものである。もう一つ、B&Gプールの適用手法についてだが、ここは再度検討させていただきたいと思う。

→（鈴木弘委員）何度も言うが、前回会議の資料ではすでに「廃止する」と記載があり、適用手法の表からいってもこれしかないだろうと思う。修正するのであればこの辺との整合性を取る必要があるだろう。

→（生涯学習課長）その部分を直すことも含めて検討したい。

- ・（上関みさ委員）今回の資料を拝見したが、「市民体育館の周辺について、一帯を市内スポーツの拠点エリアとして位置付け」とあり、素敵な考え方だと感じた。だが、前回の資料、話し合いの中でも「市民ニーズを大切にしていきたい、してほしい」とたくさん出てきたが、整備時期を含めて、市民ニーズをどのように捉えているのか、考えを伺いたい。

→（生涯学習課長）競技種目によって市民ニーズは色々あって、いいものをまとめたところに整備してほしいというのが、市民の考えではあると思うが、今ある施設をいかに使いながら使いやすく整備していくのかというのは難しいことだと思うので、なんとかできる範囲で、市民ニーズを把握しながら反映させてい

けるようにがんばっていきたいと思う。一気にあれこれ整備していくことはなかなかできないという市の事情も御理解いただきたい。

- ・（上村弥委員）施設を管理する者として、市民体育館で今問題になっているのは、トイレ配管の一部が老朽化して頻繁に詰まっている。業者からも更新の必要性を指摘されている。こういった細かい、念入りな聞き取り調査を行った上で、計画に登載していただければと思う。市営球場についても電光掲示板が老朽化して正しい点数が表示されないことがまま出てきている。整備を求めているが、予算化されない事情もあり、県大会規模の大会が開催されても恥ずかしいところがある。また、市民ニーズということで、市民が使う施設ではあるが、「見る」施設のニーズもある。一流の選手が来て一流のプレーを見るということも必要なこと。数年前に、岩手ビッグブルズが試合の開催検討のため市民体育館を視察に来たが、いまだ実現していない。沿岸では久慈、宮古、釜石、陸前高田の主要な自治体全てで開催していて、開催していないのは大船渡だけになってしまった。一流のプレー、雰囲気など見ることによって市民の意識が高まったりするので、自分たちがプレーするよりも、目標を見つける上で、そういう外部の人たちのプレーを見せられる施設が望ましいと考えている。加えて、照明のLED化が今年度から進められるようだが、大変ありがたいと思っている。その中でカラスの巣対策を実施していただきたい。近隣の住宅に糞の被害も発生したりしているので、対策があればそれを行った上で、LED化をお願いできればと思う。  
→（生涯学習課長）今回の計画では大規模な実施内容をあげており、日頃の維持修繕に含まれるようなものは記載していないので御理解いただきたい。
- ・（金野敏夫委員）テニスコートについて、子どもからお年寄りまで体力に応じて楽しむことができるし同じコートで軟式と硬式がプレーできる。レクリエーション的な使い方もできるし試合もできるということで、収益性が高いのも納得できる。増設すれば大会も開催できるのでそれは非常にいいことだと思う。既存のテニスコートと田中島グラウンドの間に、衛生センターにつながる道路があるが、あれはどうなるのか。  
→（生涯学習課長）2 m程度の道路があるが、あれは市道ではなく通用道路だったはず。整備の際には、生涯学習課だけで決められないと思うので、配慮していきたい。
- ・（古座勝利委員）市民体育館について、実施時期の検討で、耐久性については著しい問題を抱えているわけではないとあるが、機能性については全然満足しているわけではない。にも拘わらず、「慎重に検討していく」というのは、行き当たりばったりな考え方で、今までの会議が何だったのかと本当に残念に思っている。復興関係の補助金を使った事業について、例えば（耐用年限に）先行して見直し計画を建てて解体した場合、その補助金は返還する必要があるのか。  
→（生涯学習課長）国の補助金であれば、整備から10年が目安で、違うものに転用したとなれば返還の必要はないが、壊す（解体）となると補助金を返還する必要があると思う。  
→（古座勝利委員）ということは、18年耐用年数が残っているということを考えて10年間は建替え計画はできないということか。  
→（生涯学習課長）補助金を返すのであればできないことはないが、そこまでの財政的な余裕はないと思うので、現実的ではないと思う。

- (古座勝利委員) そもそもこの委員会の中で、そういった話がないままに話が進んでいっている。みなさん今初めてこのような内容を聞いたと思う。細かい話を知らないまま議論をしても意味がないのではないか。
- (協働まちづくり部長) 市民体育館の今後の検討について、災害復旧の内容については基本的には「原形復旧」だったので、整備内容の選択肢はなかったのだろうと思う。その(災害復旧の)際にも、できるだけ早く何とかして使えるようにしてほしいという声を受けて、工事を急いだ経緯もある。今後、建替えるとなった場合、このくらいは施設がもつ、使えそうだとすることはお示しした上で、この委員会の声や市民の声を聞くなかで、「もっと整備を急いでくれ、ぜひとも建替えてくれ」ということになれば、当然財政的な負担も考慮することになるが、建替えの検討を加速させることも必要になると考えている。我々担当部署としては、スポーツ施設の整備をできるだけ優先したいと考えるが、市全体としては多くの公共施設を抱えていることから、市公共施設等総合管理計画を策定した経緯もある。その中でスポーツ施設の整備を論じなければならないという点を御理解いただきたいと思う。そうした中でできるだけより良い方向に進めたいと考えている。本日いただいた御意見を踏まえて今後、素案をさらに練り上げ、案という形でお示しし、最終的には計画の形に持っていきたいと考えている。その過程の中には、パブリックコメントとあって市民の方々の意見を聴く機会もあるし、市民の代表である市議会へ説明する機会を設けることも必要になる。そういった段取りを経て案から成案へと進めていくつもりである。いずれにせよ、今回の内容をもって承認してくださいということではない。ゆえに今回は「素案」という形でお示ししている。いろんな意見をお寄せいただいてより良いものにしたいと考えている。市営球場等、今までいろんな意見をいただいていた。今般は、さらに客観的な観点ということで、国のガイドラインに基づく評価を織り交ぜた。現状のままでも良いという意見があることも承知しているが、評価においては「建替え再整備」の方針が出ていることは重く受け止めなければならいと認識している。これらを踏まえて今回の素案ができていることを御理解いただきたい。
- ・ (新沼良治委員) 予算も厳しい、土地も厳しいという中身を理解した上で、私のこうなればいいなという考えをお話ししたい。今日は野球場と体育館が新しく作られればいいなというお話だが、もしそうなることがあれば野球場と体育館を隣接させて、駐車場を同じ敷地内に整備する。できれば陸前高田市の夢アリーナくらいの広さの駐車場があると、一度、東日本大震災を経験しているので、市民の避難場所とか自衛隊の基地とかにできると思う。乗用車も相当な台数を停められるので、そういう施設になればいいなと考えている。
  - ・ (浅沼道成委員) 確認だが、①市営球場の建替えは決定、②体育館については機能を良くしたいが当面難しい、③テニスコートについては増設する、ということはこの検討委員会の皆さんが合意して決めたということで進めるということでのよろしいか。正直、私は困るなという気はするが。ここは曖昧にしない方がいい。あくまで案を決めたということ、最終的な決定は議員さんがするのだろう。委員会としては先ほどの3点を了承、この検討委員会で提言したということでよろしいか。テニスコートについては、前期でできる予定で、これが1番見えやすい成果になるだろう。変わる可能性があるのもそれは構わないが。

- おそらくこの後検討委員会はないのではないか。パブリックコメントはあるようだが、おそらく最後になる可能性もあるのでちゃんと確認しておきたい。みなさんふわふわしていて、不本意だ、とかいろんな意見はあるが、ちゃんと了承したという責任はあるのか確認したい。みなさん、どこかで、もっといい答えがほしかったな、でも現実には現実として受け止めるしかないか、みないなところがあって、私もそれはしょうがないと思うし、委員長さんが苦勞されると思うので、しっかり確認しておきたい。
- (協働まちづくり部長) 検討委員会はこれで最後ではなく、素案から案になる段階で再度お諮りしたいと考えている。市営球場については、建替え再整備について検討しますということ、市民体育館については更新に向けて検討しますということ、本計画上にうたうものであり、こういうふうに整備します、という具体的なことは施設ごとに設けられる検討委員会で決められる。「検討していく」という方向性を、この計画できちんと決めることが望ましいと考えている。
  - (浅沼道成委員) 去年も検討して、今年も検討して、ただ意見を聞くだけになっているような気がして蛇足のようなお話をしてしまった。三宅委員がおっしゃったように、やる(整備する)ならばやくやったら、という意見に賛成。この場ではそのことについて議論しなかった。
  - (協働まちづくり部長) 今日いただいた意見をもとに、素案を再度検討していく。それでもって、次のステップに移っていくつもり。今日このままの形で進んでいくということはないので、議論を踏まえてさらに吟味していくものである。
- ・ (新沼委員長) 「Ⅶ個別施設計画」の中で、スポーツを通じた交流人口の拡大や近隣自治体との連携をうたっているのは、体力的にも全てに関してこの地域を元気にしたいという計画だろうと思う。この基本を計画に取り入れていくことをお願いしたい。施設の再整備もやるなら早く、その方が交流人口の拡大につながるだろうし、10年後には人口減少で、今以上に人を集めようと思っても無理な話だと思う。予算の問題とかいろいろあると思うが、(施設整備を)やるならいつなのか、ということが、皆さんの意見を聞いていても節々に出てきた。ぜひこの意見を次回の会議までに計画の中に取り入れていただければ幸いである。